

私の2018年は…

JJ1SXA/池

今年も残り少なくなりました、さて今年はどうな年だったかと振り返ってみました、昨年は、腹部大動脈瘤が見つかり、部位からカテーテルでは対応できないということで、開腹手術を行いました、その前2年間くらいは、横紋筋融解症で、原因が特定できず、苦しみました、約10年前に前立腺ガンの全摘手術を行い、その後経過観察で定期的に受診している立川市内の、国立病院機構・災害医療センターで、あちこちの科で検査等を行い、最終的に、甲状腺障害とわかり、その治療で、横紋筋融解症の病状は好転しました、そんな矢先に、腹部大動脈瘤の発見でした、昨年5月初めの事だが、手術で万一のことがあるかも知れないし、そうでなくても、泊りがけで遠出など、できなくなるかも知れない、今年で最後の伝搬実験参加になるかも知れないと、伝搬実験で一泊旅行の後に手術という事で医師に話し、伝搬実験の終わった翌々日の、5月30日に入院、6月1日手術でした、幸か不幸か、しぶとく生き残りましたhi

そんな悪夢のような数年の思い出は、どこかへ飛ばし、本年2018年は、まず結婚50周年でした、俗には金婚式でしょうか、良くぞ長持ちしたものだ、まだ先があるが…

次は、1アマ合格40年目でした、技術的な事は覚束無く、無線工学の学科試験は、もっぱら問題集の丸暗記に頼り、CWの実力も、和文、欧文共合格ラインの80%程度の実力しか無いのに、無謀に挑戦したら、結果的には、悪運強く、幸運の女神が寄り添ってくれたというだけでしたが、試験会場での、周りの会話、今回で3回目の受験だとか、何かントリー（当時は、エンティティとは言わずカントリーだった）やっていますとか、誰それは、元プロで和文の達人で、その人に鍛えられたとか、まるで、別世界の話で、これは、とんでもない所へ来たな、帰ろうかなとも思ったところですが、試験が始まったら、そんな心配はどこへやら、実力の、120%が出た、人は、これを糞度胸のお陰というようだ、まあそんな思いもよぎるが、40年は永かったような短かったようなです。

240グループの歴史は、スタートからは、37年目だが、2年目に分裂騒ぎがあり、その後の新生240グループスタートから35年目、これも永かったような短かったようなです、再出発の時、責任者のように祭り上げられ、1年何とかもった、2年何とかもった、ようやく3年何とかもった、もうどうなっても私共の責任では無いなどと、毎年、忘年会が無事終わると、SXBと二人で話をしていたのも、今は昔の物語になりました。

今年の特筆は、5月実施の「東京コンテスト」の50MHzCW部門で、久々に1位入賞がありました、ローカルコンテストではあるが、参加当初の頃は、3位までの入賞者に賞状はあったが、今は無くなったものの、1位のみ盾の副賞が付いた、これで、やるなら1位だとばかり力が入り、一時期は、1位の座が定位置だったが、ここ数年は、1位になれないどころか、3位入賞にも入らない年もあり、矢張り齢のせいかと半分諦めの境地もあったが、まだまだやればできると元気が出た、中断している、DXQSOにも復帰しようという希望も湧いてきた、一時は新しもの好きで、eQSO、Wires、echolink、APRSや他にもリモートシャック、JT65等何でも飛びついたが、あの頃の気持ちに戻り、無線のアクティビティを上げよう、もう少し頑張ろうという気になったが、さて来年末に、どのような報告ができるか？ それより何より、生きているのか、寝たきりか、或いは認知症老人か？ 来年1月には83才です。